

飯田グループの事業概要

～当社の強みと今後の成長戦略～

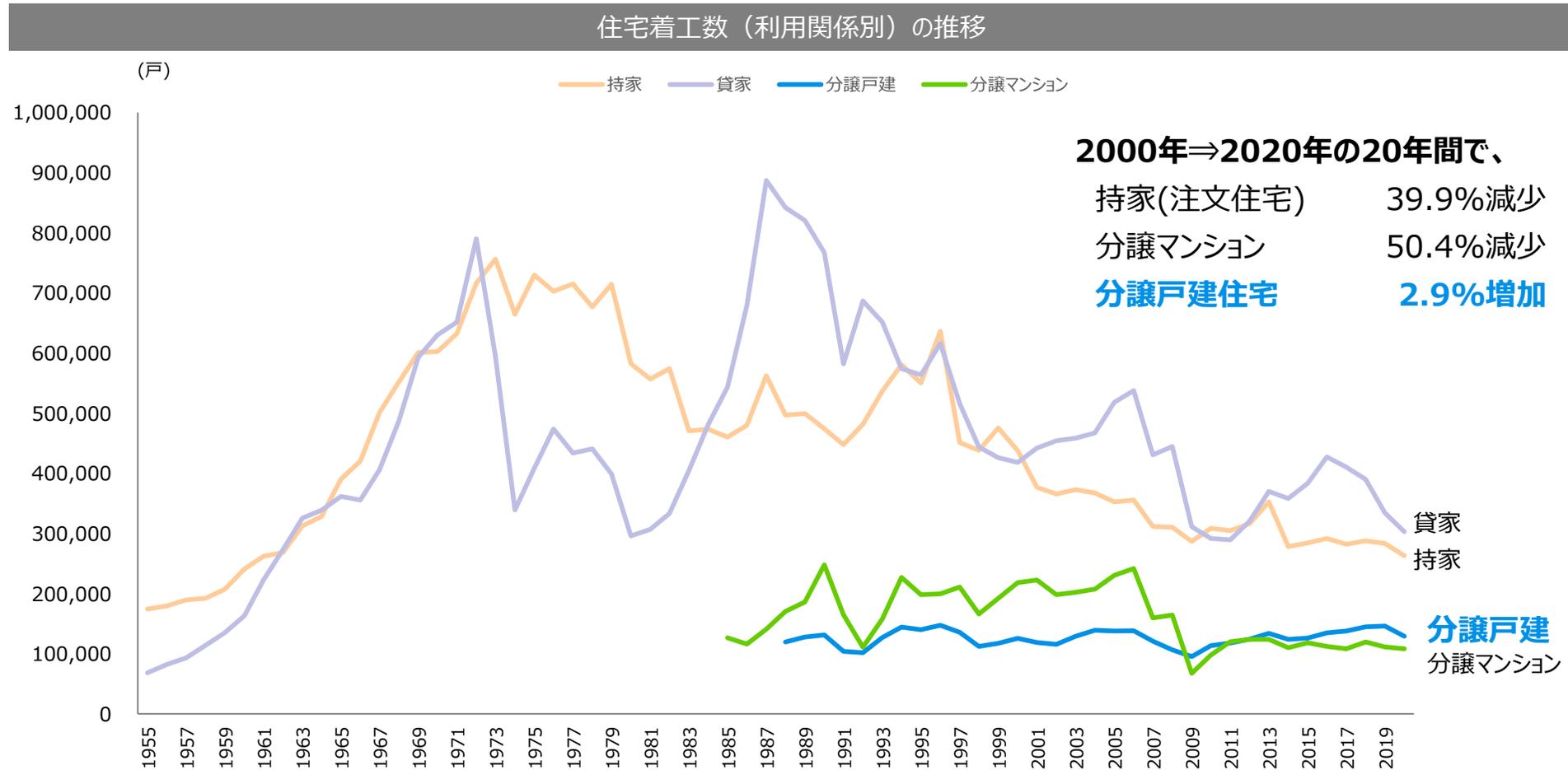


1. 住宅市場について



1. 住宅市場規模

分譲戸建市場はボラティリティが小さく、住宅市場の中では長期的に安定した市場

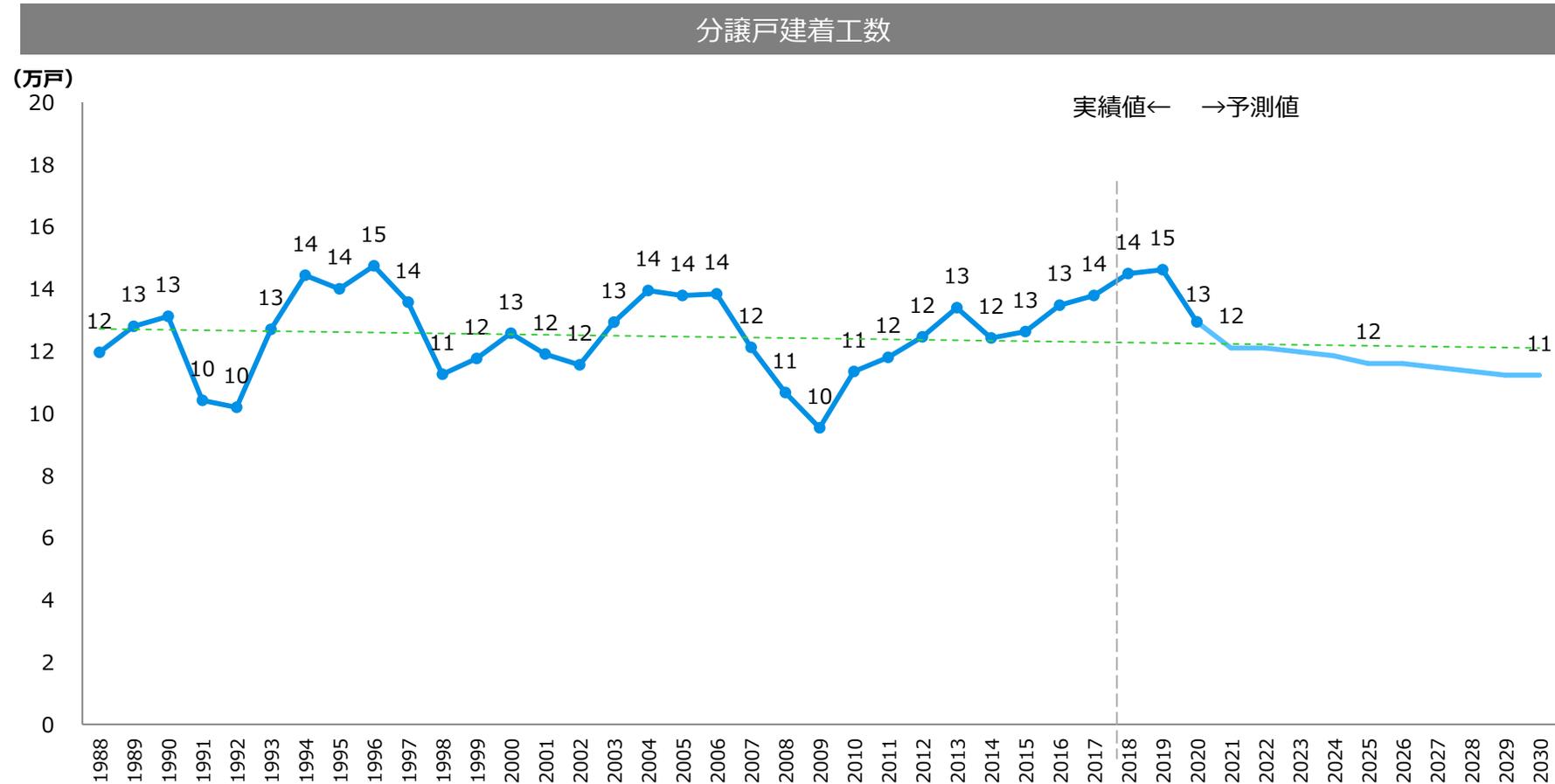


出所:国土交通省「住宅着工統計」

注:1985年度以前は、分譲住宅の内訳として分譲戸建、分譲マンションが分かれていないため表示できない。

2. 分譲戸建の着工数予測

分譲戸建着工数は概ね13万戸で推移しており、2030年は11万戸になる予測



出所：実績値は国交省「住宅着工統計」より。

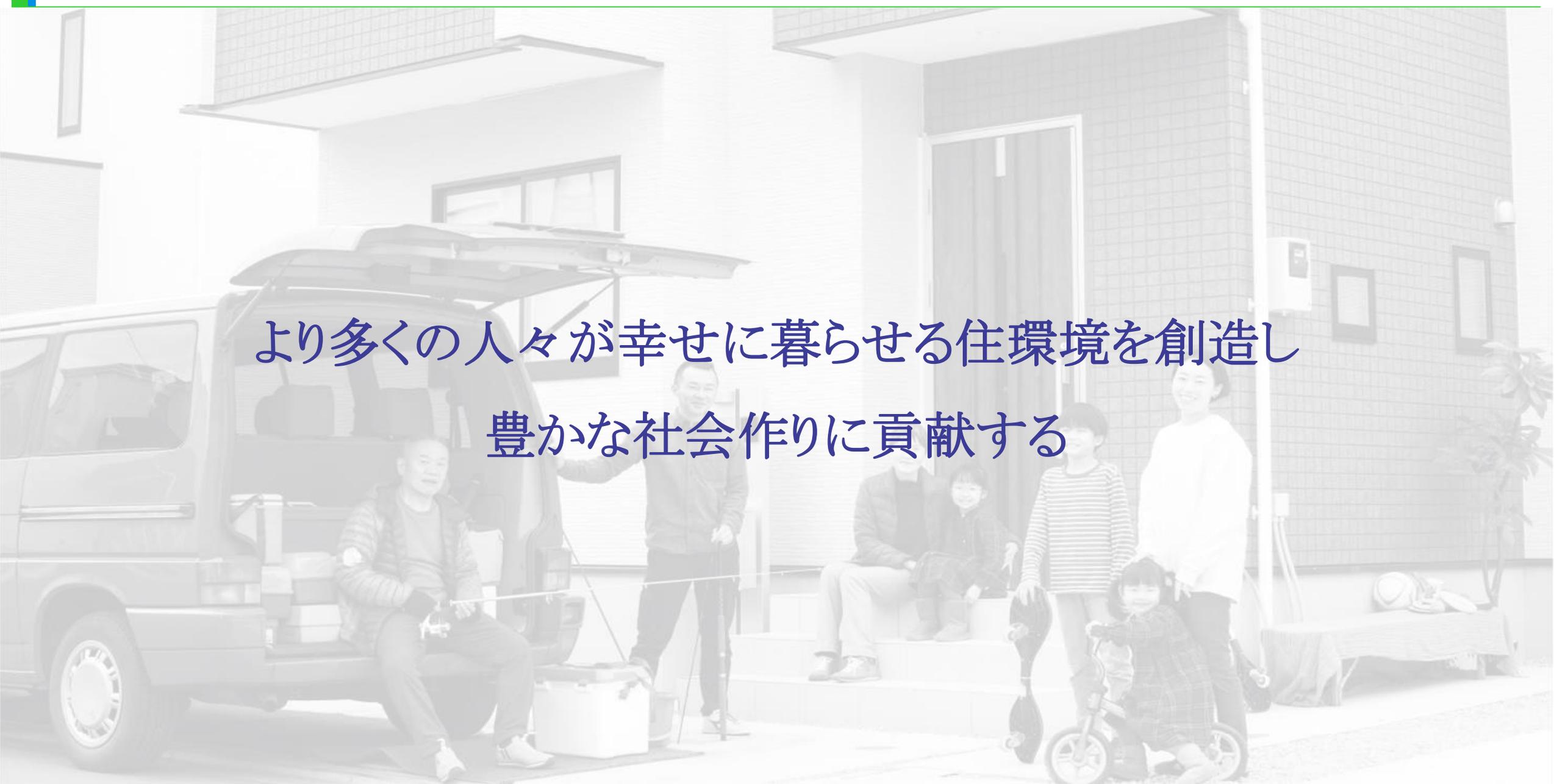
予測値は、野村総合研究所(NRI)「2030年住宅市場」と三菱UFJリサーチ&コンサルティング(MURC)「日本経済の中長期見通し」の平均値。

※ 予測値はNRI及びMURCの分譲着工予想に、過去の分譲着工に対する戸建・マンション其々の相関係数を適用し算出。

II. 当社グループのご紹介



1. 経営理念



より多くの人々が幸せに暮らせる住環境を創造し
豊かな社会作りに貢献する

2. 会社概要

分譲住宅を手掛ける上場6社が2013年11月に経営統合し設立

商号	飯田グループホールディングス株式会社 (英文表示：Iida Group Holdings Co., Ltd.)
設立	2013年11月1日
代表者	代表取締役社長 兼井 雅史
本社所在地	東京都武蔵野市西久保一丁目2番11号
資本金	100億円（2021年3月31日現在）

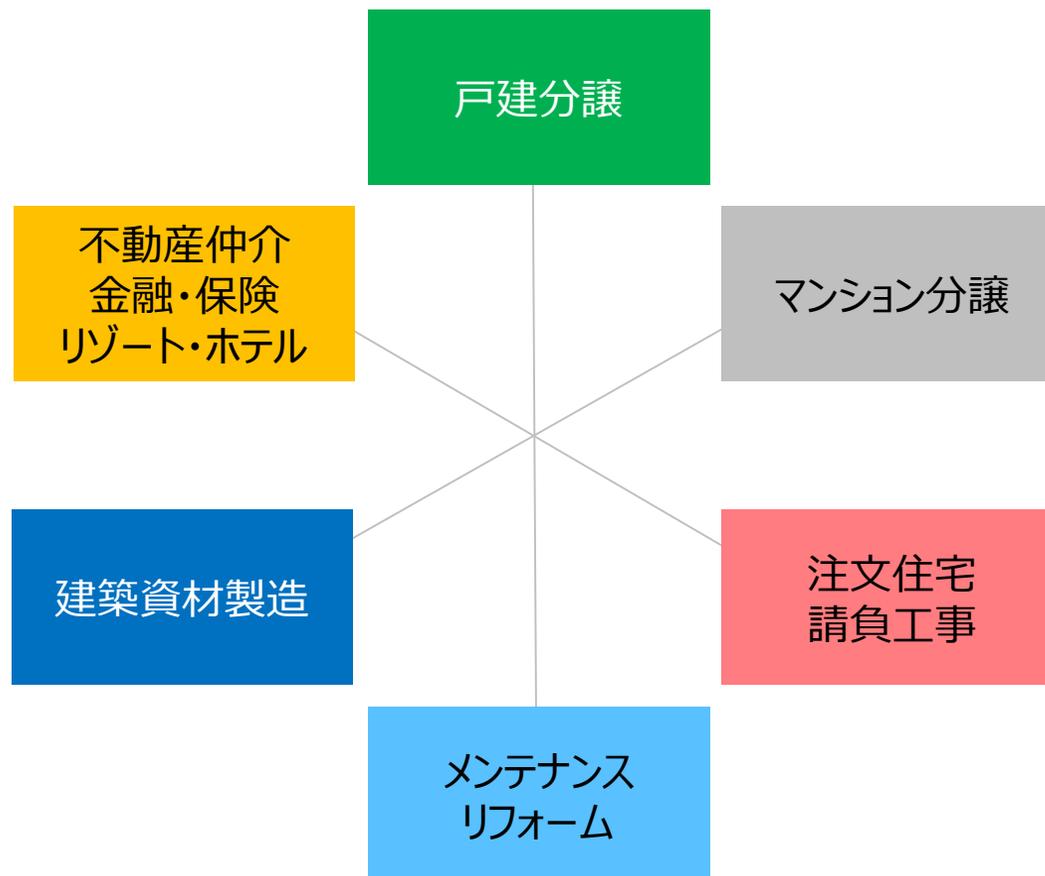


【シンボルマーク】

6社統合と地球上で一番硬いダイヤモンドとハニカム構造をイメージし、グループの強固な結束力を表しています。

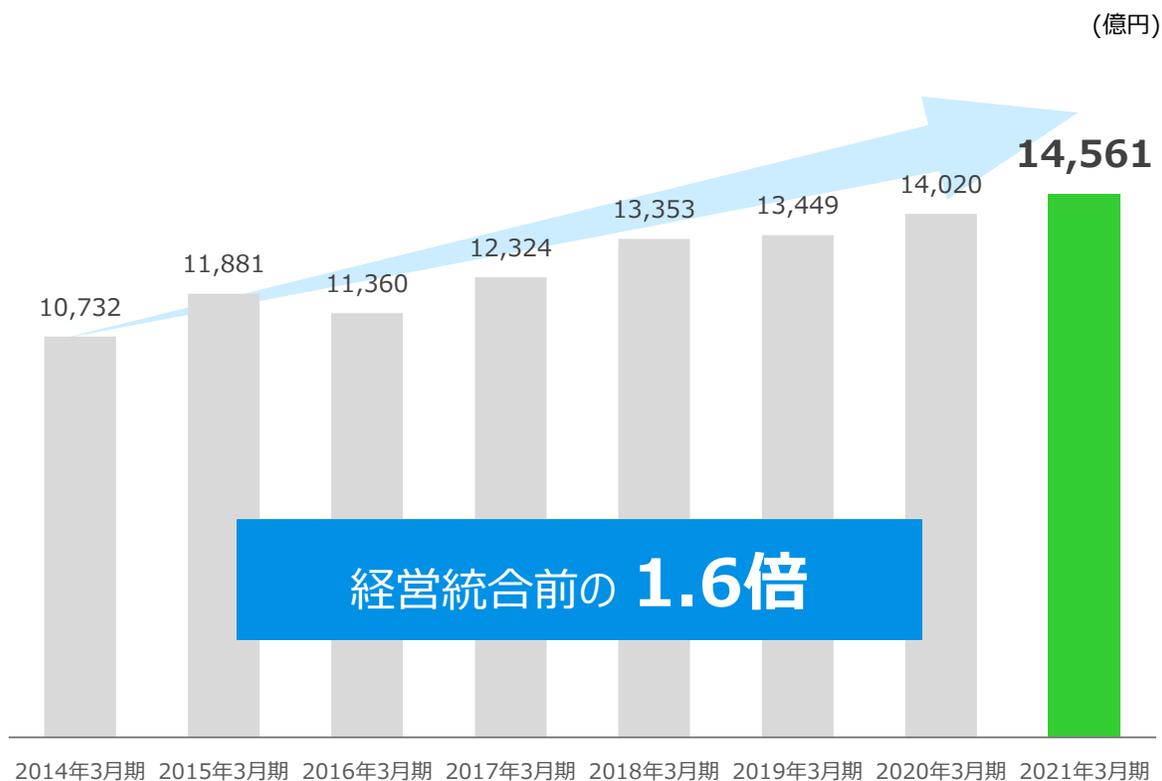
3. 事業展開

お客様の人生に幅広く寄り添う多彩な商品・サービスを提供

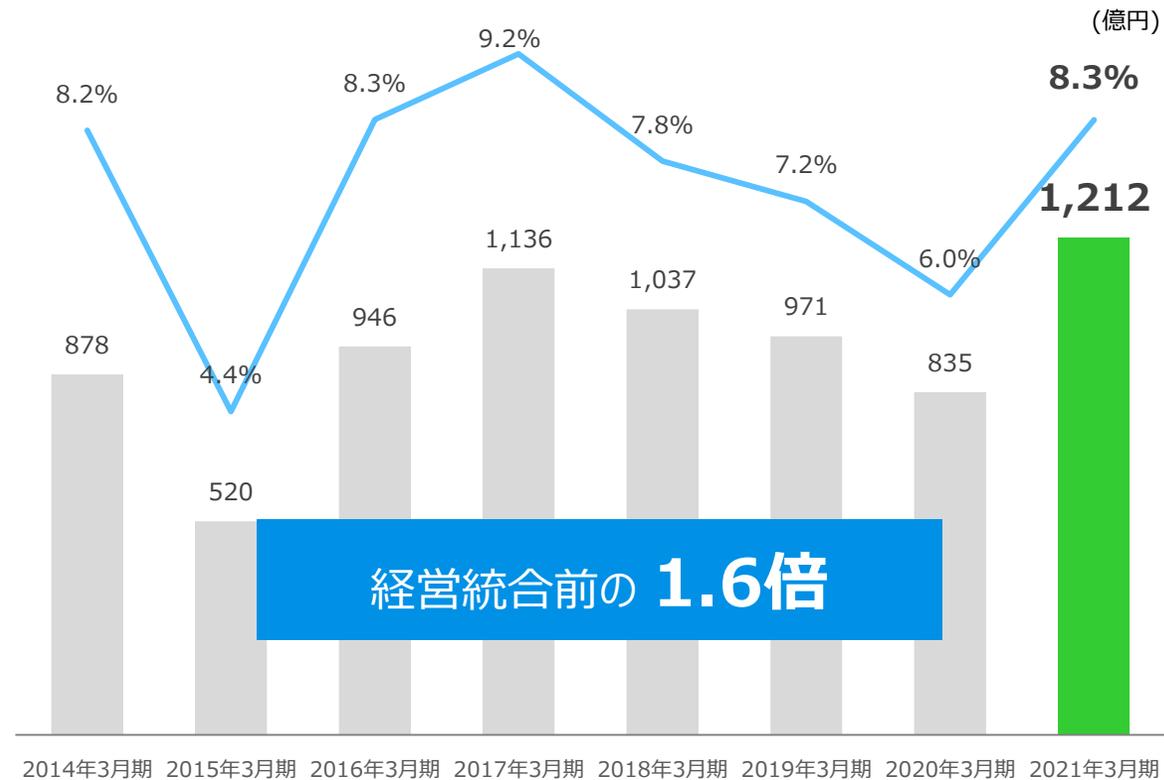


4. 業績推移

売上収益



営業利益、営業利益率

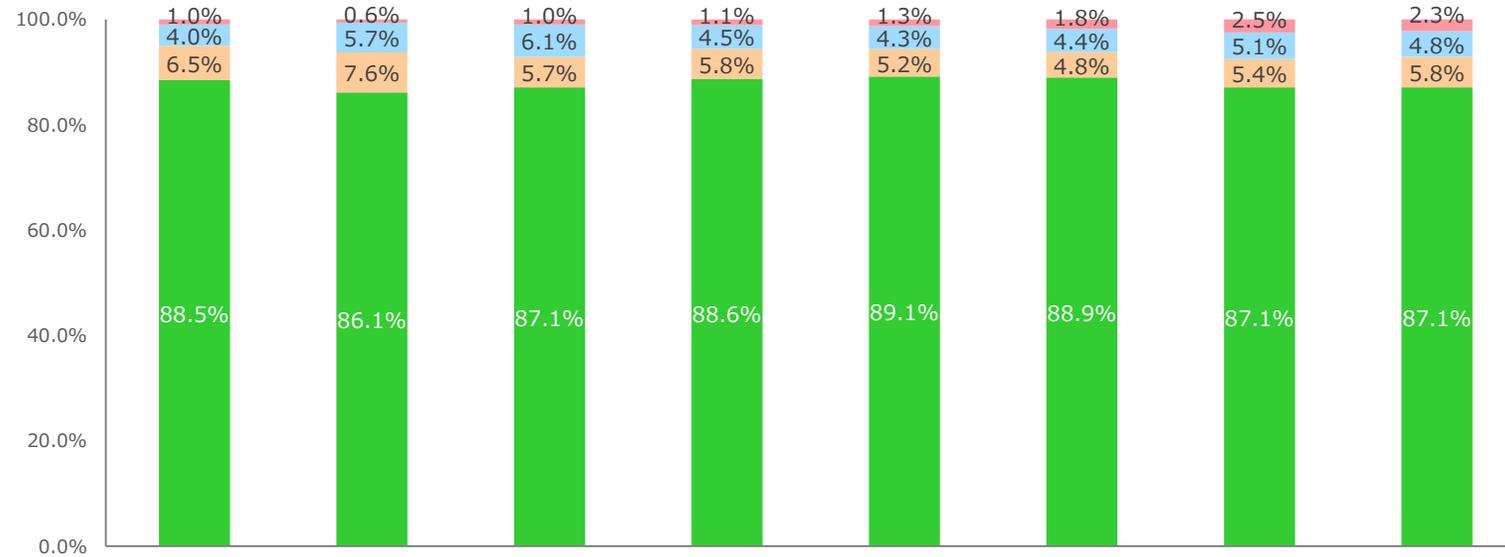


※ 2013年11月の経営統合前の直近事業年度の業績合算値と2021年3月期業績から算出

5. 事業別売上構成

事業別売上構成比

■ 戸建事業 ■ マンション事業 ■ 請負工事 ■ その他



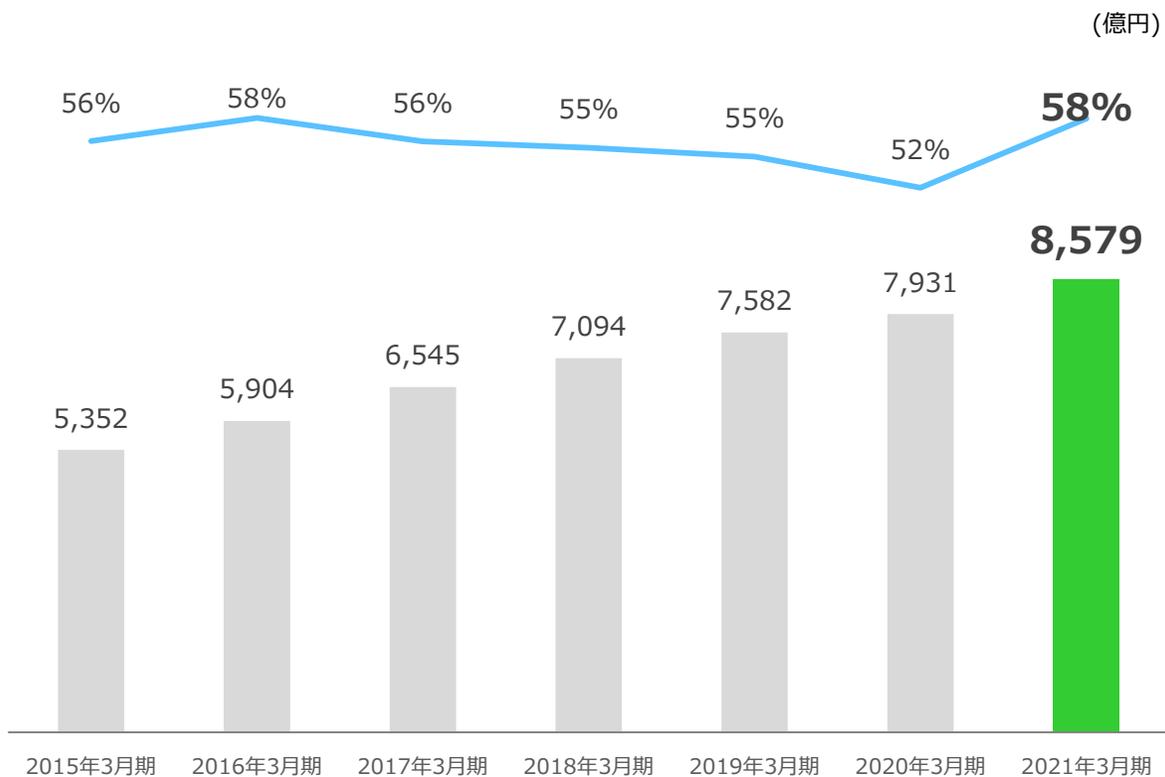
(億円)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	平均成長率
売上収益	10,732	11,881	11,360	12,324	13,353	13,449	14,020	14,561	4.5%
戸建分譲	9,495	10,231	9,895	10,922	11,900	11,963	12,206	12,683	4.2%
マンション分譲	697	900	651	711	699	648	754	842	2.7%
請負工事(注文住宅)	430	676	697	553	580	593	708	705	7.3%
その他	108	72	115	136	173	245	351	330	17.2%

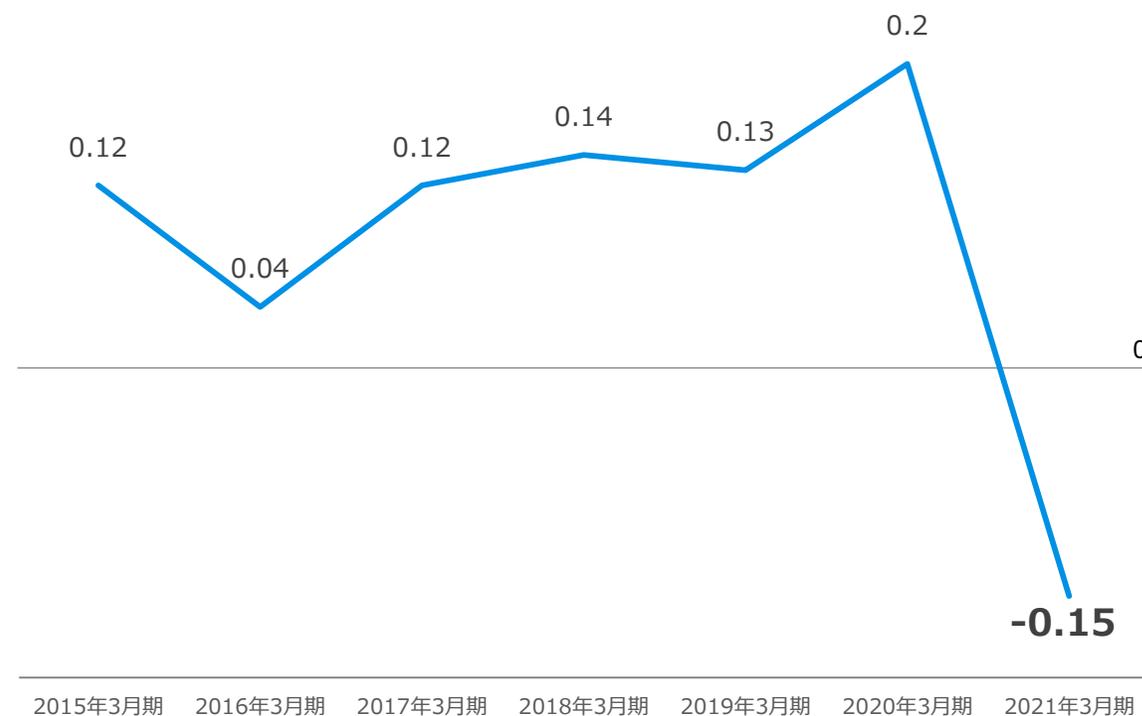
出所：IR資料

6. 財務状況

自己資本及び自己資本比率



ネットD/Eレシオ



7. 2022年3月期 第2四半期 決算概況

(百万円)

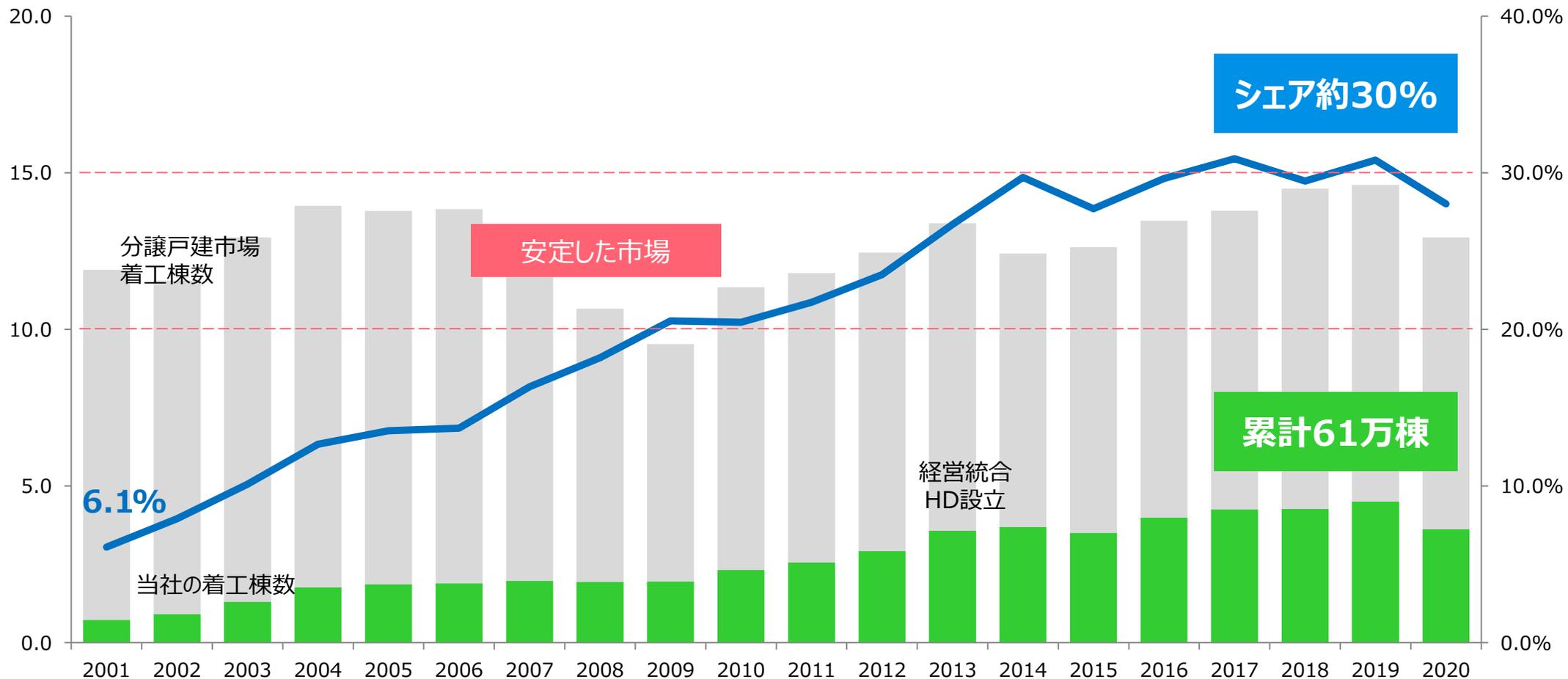
	2021年3月期 2Q (2020年4月～2020年9月)		2022年3月期 2Q (2021年4月～2021年9月)		前年 同期比
	実績	売上対比	実績	売上対比	
売上収益	738,320	—	682,964	—	 92.5%
売上総利益	114,281	15.5%	151,205	22.1%	 132.3%
営業利益	52,647	7.1%	85,746	12.6%	 162.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	34,728	4.7%	57,976	8.5%	 166.9%
1株当たり 四半期利益	120.43円		201.04円		

8. 分譲戸建のマーケットシェア

全国着工数と当社の分譲戸建市場シェアの推移

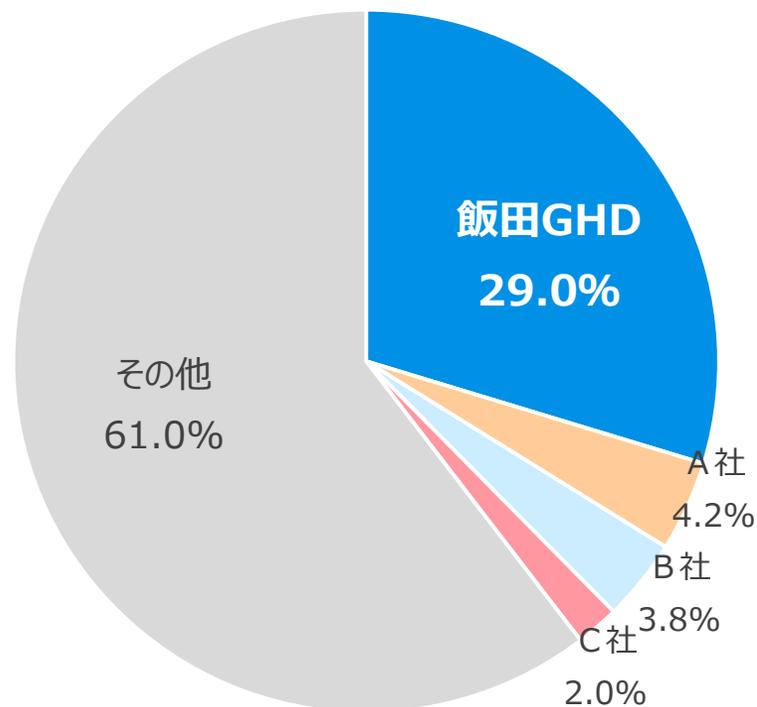
分譲戸建着工棟数：万棟

当社の市場シェア



9. 分譲戸建のマーケットシェア

2020年度分譲戸建の市場シェア



2020年度着工棟数ランキング

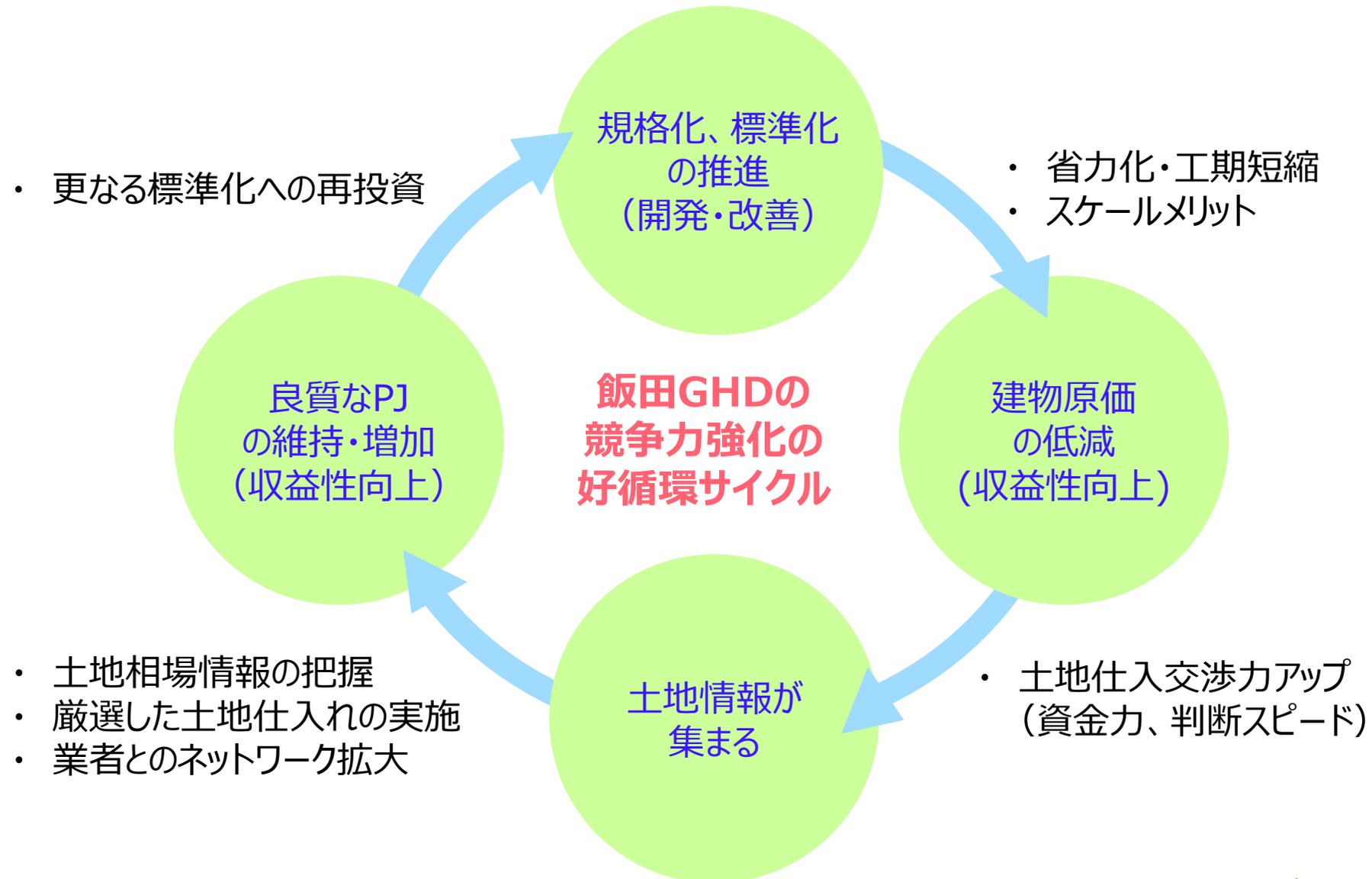
	着工棟数	シェア
飯田GHD	32,955	29.0%
A社	4,743	4.2%
B社	4,271	3.8%
C社	2,301	2.0%
その他	69,524	61.0%

出所:住宅産業研究所「2020年度全国建売住宅着工ランキング」

III. 戸建分譲事業の特長



1. ビジネスモデル



2. 戸建分譲事業の強み

徹底した
マーケティング

好立地

- ・圧倒的な仕入力（資金力、判断スピード、豊富で新鮮な情報）
- ・全国の営業拠点による地域に根付いた仕入ネットワーク

好価格

- ・資材調達力（安定的かつ圧倒的発注量、国内外の自社工場）
- ・膨大な情報量をデータベースで管理、情報の見える化
- ・信頼性の高い、約61万棟の自社販売データで値付け、マーケティングへの応用

高品質

- ・分譲戸建全棟で、国土交通省の定める住宅性能評価の最高等級を取得。
- ・住宅資材の自社工場を保有することで品質を一括管理。

3. 商品の価格帯別の構成

特徴の異なる6社の商品（価格帯）で分譲住宅市場に対してフルカバレッジ

【一建設】



平均売価**2,770**万円

【飯田産業】



平均売価**3,347**万円

【東栄住宅】



平均売価**3,437**万円

【タクトホーム】



平均売価**2,954**万円

【アーネストワン】



平均売価**2,413**万円

【アイディホーム】



平均売価**2,599**万円

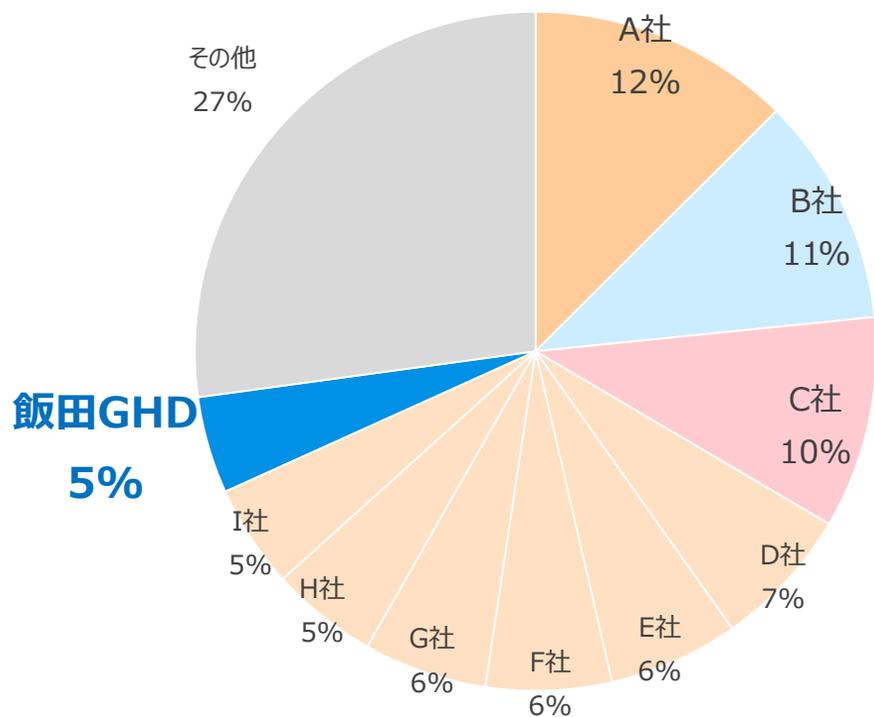
※ 平均売価は、2021年3月期の各社の平均売価

IV. マンション分譲・注文住宅・ メンテ・リフォーム事業



1. 分譲マンションのマーケットシェア

2020年度分譲マンションの市場シェア



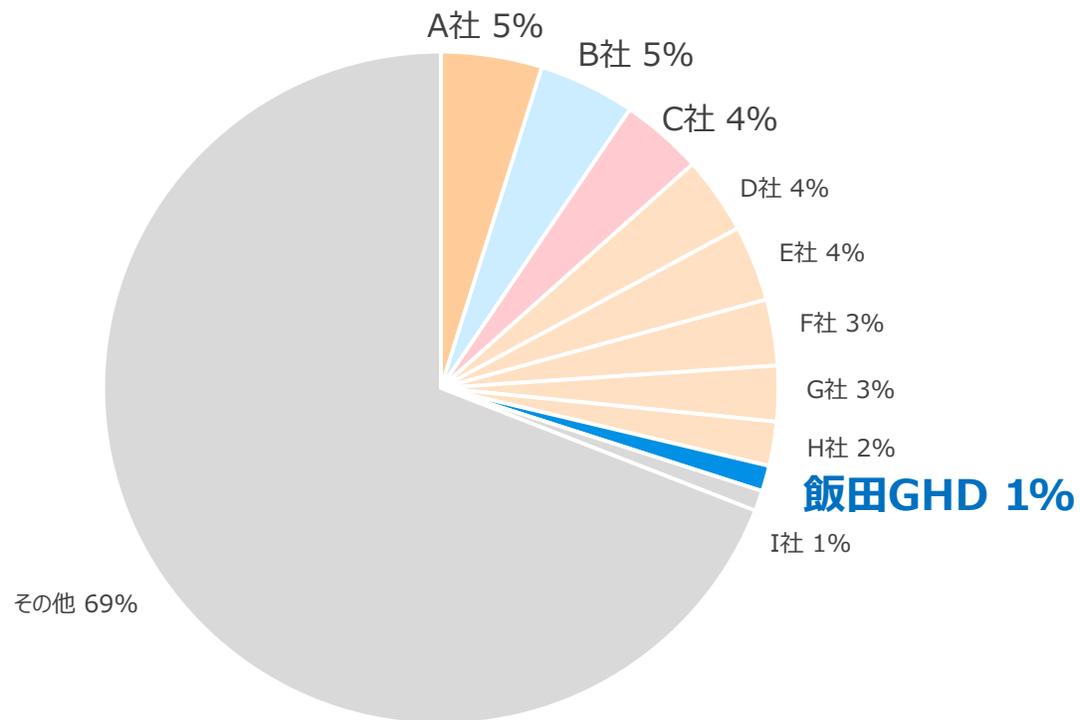
2020年度供給戸数ランキング

	供給戸数	シェア
A社	4,342	12%
B社	3,791	11%
C社	3,512	10%
~~~~~		
<b>飯田GHD</b>	<b>1,603</b>	<b>5%</b>
その他	9,444	27%

出所：不動産経済研究所「全国マンション市場動向2020年（2020年のまとめ）」  
飯田GHDの供給戸数は2021年3月期販売決済戸数

## 2. 注文住宅のマーケットシェア

2020年度注文住宅市場シェア



2020年度供給戸数ランキング

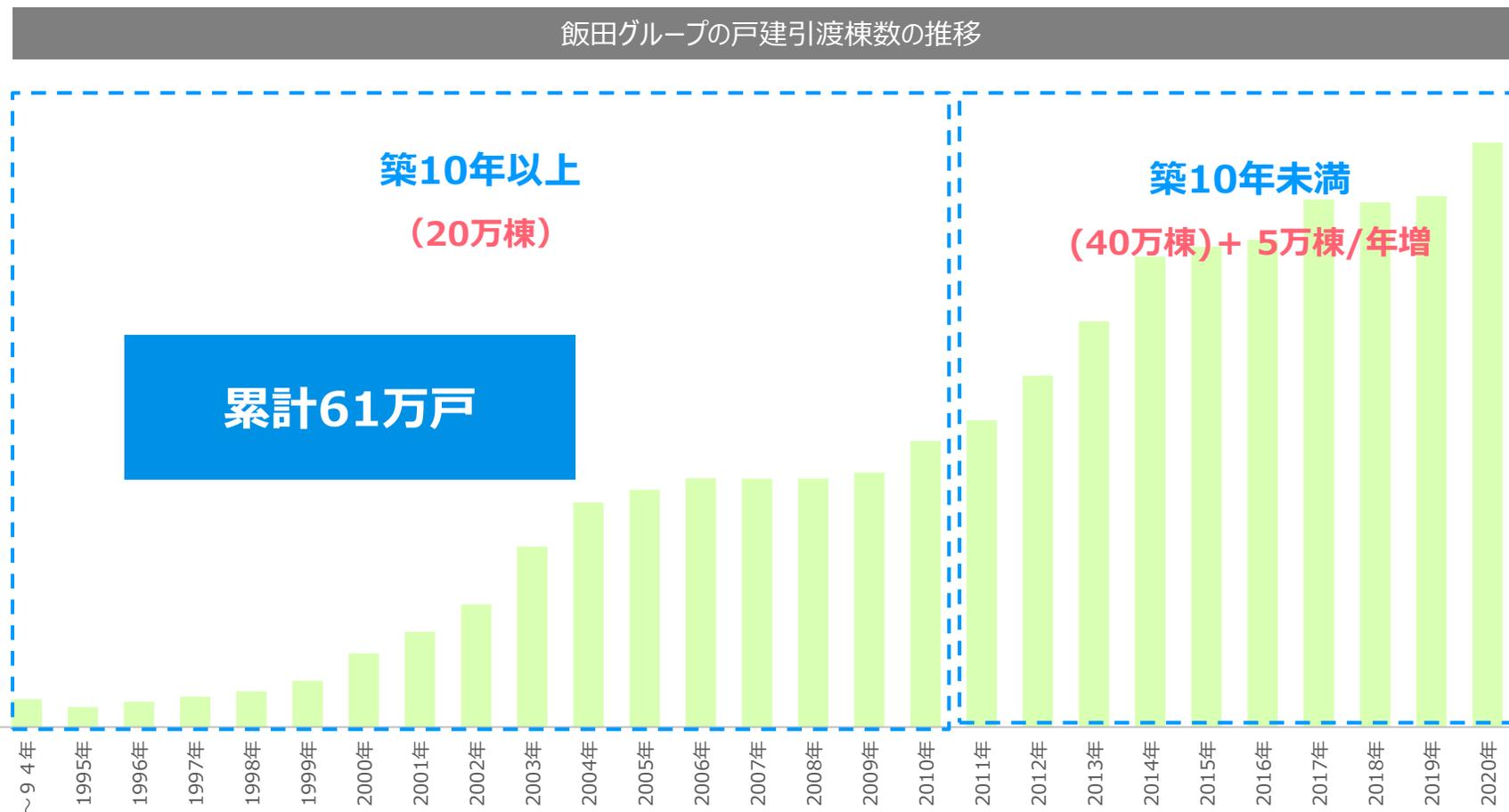
	供給戸数	シェア
A社	12,742	5%
B社	12,149	5%
C社	10,369	4%
~~~~~		
飯田GHD	3,253	1%
その他	181,691	69%

出所：住宅産業新聞社「2020年度大手ハウスメーカー・ランキング」、住宅産業研究所「'21住宅メーカーの競争力分析」、国土交通省「建築着工統計調査」

※住宅産業新聞のランキングに、当社の順位を追加して表示

3. メンテ・リフォーム事業

累計61万戸の顧客基盤を活かしたビジネスモデル構築



出所：各社HP、IR資料
積水ハウスは2020年1月末時点、大和ハウスは2021年3月末時点、飯田GHDは2020年3月末時点の累計引渡し数

V. 成長戦略



1. 成長戦略

【基本戦略】

コア事業の
競争力強化

事業ポートフォリオ
拡大

人生100年時代への対応

革新的新技術の開発

海外事業の拡大

【事業展開】

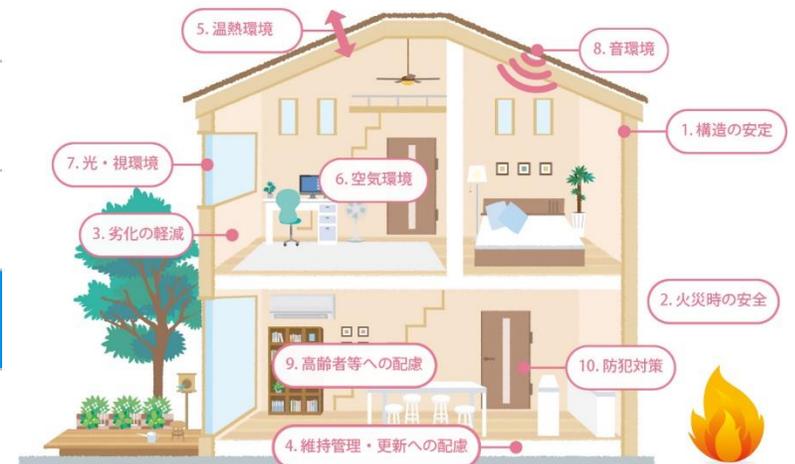
- グループで供給する分譲戸建住宅“全棟”において国の定める『住宅性能評価』の最高等級を取得
- 住宅性能を維持するためのメンテナンス体制の確立（メンテ・リフォームのビジネスモデル化）
- 分譲戸建事業で培った強みを他事業へ展開
- 長く、安全、快適、健康に暮らせる住宅の開発
- 海外での事業基盤の確立

1. 成長戦略 – 人生100年時代への対応 –

人生100年時代への対応

【住宅性能評価 全棟最高等級取得】

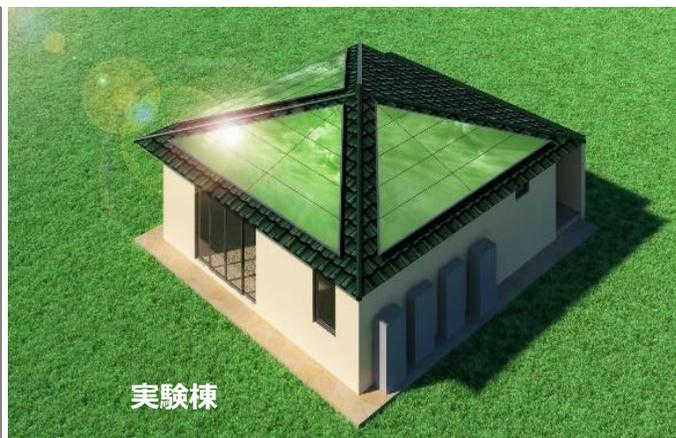
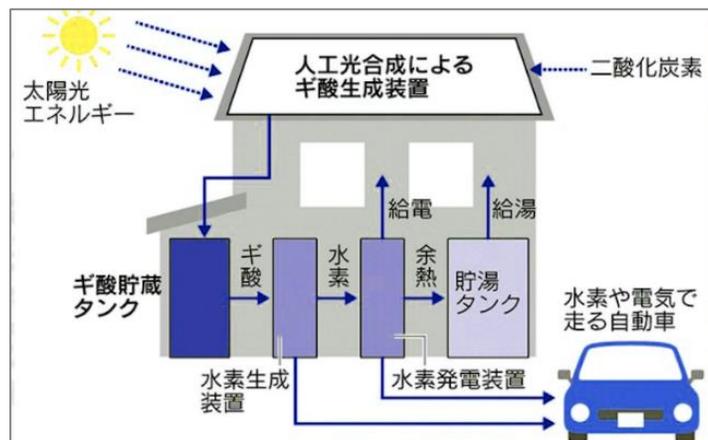
分野	項目	等級				
構造の安定	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)	1等級	2等級	3等級		
	耐震等級 (構造躯体の損傷防止)	1等級	2等級	3等級		
	耐風等級	1等級	2等級			
劣化の軽減	劣化対策等級	1等級	2等級	3等級		
維持管理・更新への配慮	維持管理対策等級	1等級	2等級	3等級		
温熱環境・エネルギー消費量	断熱等性能等級	1等級	2等級	3等級	4等級	
	一次エネルギー消費量等級	1等級				4等級
空気環境	ホルムアルデヒド対策	1等級	2等級	3等級		



1. 成長戦略 – 革新的新技術の開発 –

革新的新技術の開発

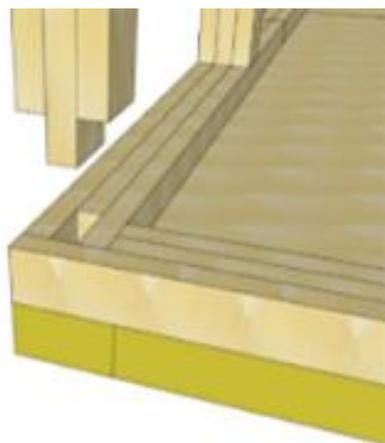
【人工光合成技術】



【未来住宅 ウェルネススマートハウス・】



【I.D.S-8型工法】



【IGストロングCB工法】



1. 成長戦略 — 海外事業展開 —

住宅事業



分譲戸建（インドネシア）



分譲戸建（インドネシア）



分譲戸建（ロシア極東）



分譲マンション（ロシア極東）

資材調達事業



木材製造工場（ロシア極東）



コンクリートブロック製造工場（インドネシア）



2. 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

より多くの人々が幸せに暮らせる住環境の創造を通じて、
持続可能で豊かな社会づくりに貢献するサステナビリティ経営を推進

社会課題

安心・安全・安価な
住環境の整備

環境に配慮した
住宅の普及

技術継承
人材育成

安全で安定した
雇用の創出

人生100年時代に向けて
長く安心、快適、健康に暮らせる住環境を提供し
お客様の人生に幅広く寄り添う

取り組み

住宅性能評価
全棟最高等級
取得

CO2排出量の
削減

メンテリフォーム
事業の拡大

技術開発
DXの推進

ガバナンスの
強化

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





飯田グループホールディングス

